大阪 歯科 保険医新聞
6/15
2009年第1012号
（毎月5、15、25日発行）
大阪府歯科保険医協会
発行人　志岐　敬
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円　月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

レセオンライン請求

「一律義務化でなく柔軟な対応を」

協会の撤回要請に理解示す面談議員

保団連・協会は、レセオンライン請求義務化撤回、自主共済の適用除外などを求めて5月28日、国会議員への要請行動に取り組んだ。とかしきなおみ（自・衆）、家西悟（民・参）、辻泰弘（民・参）、中村哲治（民・参）、石井郁子（共・衆）、辻元清美（社民・衆）各議員と面談し、家西議員はオンライン義務化撤回について、「一律に義務化するのは無理があり、柔軟な対応が必要」と一定の理解を示した。また、「自主共済の適用除外」署名は、竹本直一（自・衆）、石井郁子両議員を紹介議員として25-13筆託した。

家西悟参院決算委員長には、山上紘志副理事長、小山榮三理事が「新型インフルエンザが院内で感染した場合、医療機関は休診せざるを得ず公的補償がない。自主共済制度があるからこそ安心して対応できる。保険業法から適応除外し、制度を存続させることが今求められる」と訴えた。

家西議員は「休診した場合に誰が従業員の生活を保障するか。これを持ち出しでやれというのはあまりにも厳しいこと」「一方で医師不足を解消するといっているわりには無理難題を押し付けている」と述べ、開業医の休業保障は地域医療を守るうえでも重要であると認識を示した。

後期高齢者医療制度の参院における廃止法案可決については、運動する側に勇気を与えたとの保団連代表からの意見を受けて、「1年以上経ているが衆議院では未だに「たな晒し」状態にある。廃止の世論を高め、総選挙での国民の審判が重要になっている」と民主党として、制度廃止にむけて引き続き努力していくことを約束した。

住江憲勇保団連会長、矢部あづさ理事、宮本辰雄・古田光行両監事は、辻泰弘参院厚生労働委員長と医療政策・自主共済問題で懇談した。住江会長が「インフルエンザ対策としても、休業保障制度の適用除外が焦眉の課題」と訴えたのに対し、辻議員は共感を示した。

また矢部理事は、レセオンライン請求義務化について「保団連の調査では義務化により60歳以上の開業医の30%が閉院すると答えている。義務化は地域医療の空洞化を促進するだけで、何としても義務化撤回してほしい」と訴えた。

辻議員は「歯科のなかではオンライン化が進んでいないが、医師の財産権への侵害を費用補填の議論もなく、省令によって義務化を強制するやり方は問題だ」と理解を示した。さらに、保団連の診療報酬改善要求案についても言及し、「保団連はあれだけの仕事ができる力があるのはすごい」と評価した。

◇◆◇

（今回の要請先・敬称略）

【面談議員】

（自・衆）とかしきなおみ、（民・参）家西悟・辻泰弘・中村哲治（共・衆）石井郁子、（社民・衆）辻元清美

【秘書対応】

（自・衆）井脇ノブ子・大塚高司・岡下信子・川条志嘉・北川知克・竹本直一・谷畑孝・中馬弘毅・中山太郎・中山泰秀・西野あきら・原田憲治・松浪健四郎・松浪健太・柳本卓治・矢野隆司、（公明・衆）池坊保子・北側一雄・佐藤茂樹・谷口隆義・田端正広・福島豊、（民・衆）長安豊・平野博文・藤村修、（共・衆）吉井英勝、（無・衆）西村真悟

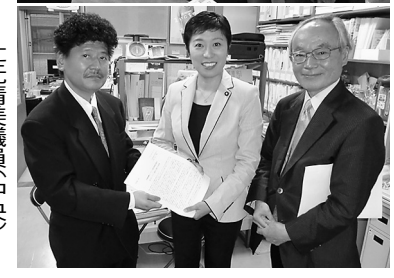
とかしきなおみ議員（左から2番目）

家西悟議員（右）

辻泰弘議員（中央）

中村哲治議員（左端）

石井郁子議員（左端）


辻元清美議員（中央）

第4回 日常診療経験交流会

真の医科歯科融合を目指して ～糖尿病と歯周病の危険な関係～

日時　6月21日（日）　9時20分～16時30分

場所　M&Dホール、保険医会館

●参加費　歯科医師　1000円、スタッフ　500円
●昼食代　1000円（希望者のみ事前申し込み）

●特別分科会（10時50分～11時30分）

東京医科・歯科保険医協会・千葉県保険医協会の医科歯科共同研究

「歯周病治療による動脈硬化指標の改善に関する研究」

藤野　健正 氏（東京歯科保険医協会・広報部長）

●ランチョンセミナー（11時50分～12時50分）

新型インフルエンザ対策

「今回の"新型インフルエンザ"をどうとらえるか」

第二波以降の備えとH5N1について

高橋　和郎 氏（大阪府公衆衛生研究所・副所長）

※院内感染防止対策研修の対象です。「受講報告書」を発行いたします。

●記念講演（13時10分～16時30分）

「糖尿病と歯周病」

清野　裕 氏（関西電力病院・院長、京都大学名誉教授）

高柴　正悟 氏（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯周病態学分野・教授）

●分科会（午前9時30分～11時30分）

テーマ・所属・報告者		
医療現場におけるアニマルセラピーの取り組み（ある高齢者の事例により）	東淀川区／カウンセラー	久門　雅子氏
上顎前臼歯の抜髄により寛解した三叉神経痛（V2）の一症例	泉大津市／内科・歯科	高橋　典章氏
悪性腫瘍の存在が糖尿病の悪化に関与したと思われる3症例	守口市／内科	井上　美佐氏
歯科金属除去によって治癒した扁平苔癬	城東区／皮膚科	笹川　征雄氏
耳鼻咽喉科日常診療より――アレルギー性鼻炎を中心に	東住吉区／耳鼻咽喉科	榊　徳子氏
肢体不自由児施設――30年のかかわり	太子町／内科	中村　洋氏
健康長寿のための個別指導	東大阪市／内科	岡本　雅之氏
当院における未収金問題の実態	忠岡町／外科	安藤　元博氏
当院におけるヒヤリハット報告の分析	忠岡町／外科	安藤　元博氏
アムロジピン――後発品への変更による血圧の変化について	城東区／内科	高本　英司氏
診診連携における泌尿器科開業医の立場	淀川区／泌尿器科	西阪　誠泰氏
介護報酬改定による収益と利用者負担の変化	高槻市／診療所総務	辻　博司氏
視力が悪いのは、本当に眼が悪いのか	東淀川区／眼科	楠　研二氏
経営改善に向けて――当院での試み	守口市／診療所事務	鈴木美和子氏
診療所外来における処方時リスクの定量的解析	摂津市／内科	今村　育男氏
医療面接でわかる患者の世界	吹田市／歯科	福原　稔氏
ビスフォスフォネート系薬剤と顎骨壊死	堺市／歯科	山上　紘志氏
学童の生活リズムの実態について――生活リズムチェックから学童の生活をみる	堺市／保健師	高瀬菜実子氏
堺市西区における乳幼児のう蝕と生活実態について――堺市保健衛生情報システム　乳幼児データベースから	堺市／歯科衛生士	黒田　千恵氏
歯周病と全身疾患について	東成区／歯科	土井　英暉氏
歯科医療と介護保険制度	枚方市／歯科	小山　栄三氏
睡眠時無呼吸防止器具サイレンサーの作製手順と使用感	東大阪市／歯科	西川　眞二氏

各種相談室

専門家がおこたえします

法律相談

【日　時】7月6日（月）午後2時～4時
【相談者】河村武信　弁護士

税務相談

【日　時】7月15日（水）午後2時～5時
【相談者】斎藤直樹　税理士

雇用相談

【日　時】7月16日（木）午後2時～4時
【相談者】桂好志郎　社労士

相談料は無料、会場は保険医会館1Fです。

歯界

新型フルは意外にも日本で多発した。検疫体制がより整備されているからだとも言われている。私は日本人、特に10代の若者に集団で行動する癖があるせいにも思える。

旅行を団体に組織してコストダウンさせ、ビッグ・ビジネスとして成功させたのは集団好きの日本人が始めたものだが、大型ツアー旅行はリスクも大きい。

この業界は新型フルでサッカーのワールド・カップのフランス大会の時以来の打撃を受けた。

サッカーの時は幸運にもフルとは無関係だったが、今回の新型フル騒動は修学旅行のシーズンだったので、特に関西地方への旅行がキャンセル・ラッシュになってしまった。

内科医、小児科医もえらい目に遇った。通常の風邪でも患者からうつされてしんどい医者に大量の患者が押し掛ける。

個々の病気は個人的対応で足りるが、疫病には改めて政治的社会的な対応が必要との認識を強める結果となった。